

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 3 号	氏名	大山 要
学位審査委員	主 査	黒田 直敬	
	副 査	中島 憲一郎	
	副 査	中山 守雄	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、今後の発展が期待される分離手法であるキャピラリー電気クロマトグラフィー（CEC）の特性を積極的に利用した新規機能性充てん剤の開発と応用を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 申請者は従来 of CEC の問題点を克服する目的で、自ら機能性充てん剤のデザイン及び合成を行った。さらに、この充てん剤の分子認識機構を多方面から解析するとともに、その実用性を実試料分析により実証しようとしたもので、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法による検討の結果、新規充てん剤の分子認識機構が疎水性相互作用、電子相互作用及び静電相互作用によるものであることを解明した。また、この充てん剤の有用性を実際の微量透析液試料等の分析を通して実証したことにより、今後の分離分析科学研究への貢献が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は分析科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと